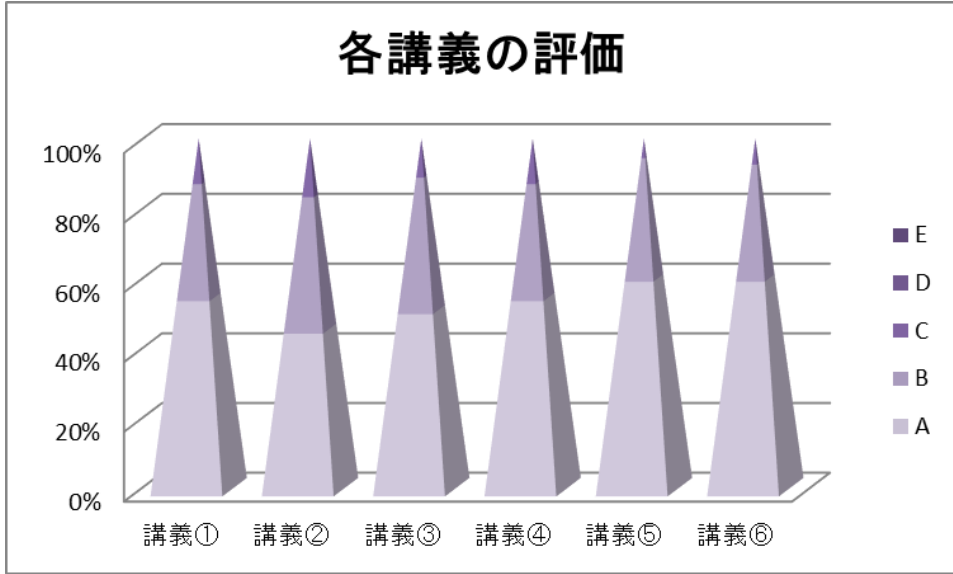




3. 各回の講義内容について

A=とても良かった                      B=どちらかといえば良かった                      C=良くも悪くもない  
 D=どちらかといえば悪かった                      E=とても悪かった

	A	B	C	D	E
①大気の成り立ち - 地球の気温はどうやって決まる? -	30	18	7	0	0
②地球規模の流れ - 低気圧が西風に流されるしくみ -	25	21	9	0	0
③雲と降水 - 雲が浮かび、雨が降る理由 -	28	21	6	0	0
④気象よもやま話 - 日々の天気舞台裏 -	30	18	6	1	0
⑤明日の天気 - 天気予報の限界とカオス -	33	19	3	0	0
⑥気候の変動 - 地球温暖化と現代物理学 -	33	18	4	0	0



4. 自由記述(以下は主観による抜粋です)

- 講義や実験のスライドが分かりやすかったです。動画や映画などが含まれていた点が良かったです。
- 非常に興味深い内容で、普段触れることの少ない物理学や気象学の考え方は新鮮さがあった。
- オーロラの仕組みを知りたい、という軽い興味でしたが、物理法則から地球の現状まで幅広く知れました。
- また講義での天気予報の限界の話はすごく面白く、興味深いなと感じた。
- 毎週興味深く文系でも理解できるような丁寧な講義、実験のおかげで1年間学習を続けられました。
- 対面実験は充実したものであり、講義も分かりやすかった。
- 実験では興味深く、感動するような内容がありすごく満足感があった。
- 秋は履修者と仲良くなれ、協力しながら参加できたことが嬉しかったです。
- △想像していた物理学とは違っていました、なんとかついて行くことができましたと思います。
- △難しい実験も多かったですが、説明やアフターケアがしっかりあり、なんとかやり遂げられた。
- △家庭の事情でオンライン実験のため、物理現象を自らの手で解き明かしたという感覚が得にくかった。
- △全体として少し難易度が高かった。

5. 講評

秋学期はオンライン講義と対面実験をメインで実施した。講義のナレーション入りの動画は前期に引き続き、概ね好評であった。また、対面実験ができたのは良かったが、感染拡大を危惧して説明を最低限にした点で評価が下がった。前もって実施手順の動画を作成して公開したが、当日はオンラインの学生にも対応しないといけず、大変なハンドリングになった。次年度は対面実験のみの実施でこの点を改善したい。この授業が、身近な気象に興味を持つきっかけになり、地球の未来を少しでも考える機会になってくれれば幸いである。